

平成29年度事務事業評価シート(28年度実績)

◎基本情報

事務事業名	ユネスコ記憶遺産登録推進事業		担当部署	市民環境部 文化交流推進課 ドイツ館・「第九」ブランド化推進室		
総合計画体系			根拠法令 計画など	ユネスコ世界の記憶プログラム		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり	事業 期間	開始	平成	28年度
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち なんと			終期	~平成31年度
(小項目)		文化振興				
施策	4	暮らしの中で文化と創造が息づくまちづくりの推進				
基本事業	2	文化芸術活動の拠点施設等の充実				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市内外														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	「板東俘虜収容所記録資料」をユネスコ「世界の記憶」に登録する。														
事業計画	28年度に何を計画していたか	①ユネスコ「世界の記憶」へ申請するための資料抽出と申請書作成。 ②県教育委員会と共同でユネスコ「世界の記憶」調査検討委員会を開催する。 ③申請対象資料を保存していくための公開の手段としてレプリカの作成とデジタル化作業。 ④周知啓発のための企画展示とイベントの実施。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ドイツ館周辺への来訪者数</td> <td></td> <td>70,250</td> <td>75,250</td> <td>85,250</td> <td>95,250</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	ドイツ館周辺への来訪者数		70,250	75,250	85,250	95,250	人
指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位										
ドイツ館周辺への来訪者数		70,250	75,250	85,250	95,250	人										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	①申請の対象となる資料の整理・選択と台帳作成・台帳用写真撮影を行った。 ②県教育委員会と共同で「板東俘虜収容所関係資料」ユネスコ「世界の記憶」調査検討委員会を開催した。 ③保存公開の目的で、対象資料のレプリカ作成に着手した。 ④申請対象資料をデジタル化しWEBで公開した。 ⑤ユネスコ「世界の記憶」に関する企画展示やイベントを通して周知啓発に取り組んだ。 ⑥ドイツ・リューネブルグ市所蔵資料の調査と、リューネブルグ博物館で開催される企画展に協力した。																																																	
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>27年度実績</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度目標</th> <th>30年度目標</th> <th>31年度目標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動指標 実施した事業の活動量を示す指標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1 調査検討委員会及び資料保存管理調査検討委員会の開催回数</td> <td></td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>-</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>2 周知啓発回数</td> <td></td> <td>5</td> <td>8</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ドイツ館周辺への来訪者数</td> <td></td> <td>70,000</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>目標達成率(実績/目標)</td> <td></td> <td>99.6</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>			指標名	27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位	活動指標 実施した事業の活動量を示す指標							1 調査検討委員会及び資料保存管理調査検討委員会の開催回数		3	4	3	-	回	2 周知啓発回数		5	8	10	10	回	成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標							ドイツ館周辺への来訪者数		70,000	-	-	-	人	目標達成率(実績/目標)		99.6	-	-	-	%
指標名	27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位																																													
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標																																																			
1 調査検討委員会及び資料保存管理調査検討委員会の開催回数		3	4	3	-	回																																													
2 周知啓発回数		5	8	10	10	回																																													
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標																																																			
ドイツ館周辺への来訪者数		70,000	-	-	-	人																																													
目標達成率(実績/目標)		99.6	-	-	-	%																																													
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり																																																

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成28年度	当初予算額	0	0	0	0	0	0
		補正予算額	1,507	0	0	0	1,700	3,207
		繰越予算額	8,629	0	0	0	836	9,465
		全体予算額	10,136	0	0	0	2,536	12,672
		決算額	10,650	0	0	0	1,793	12,443
		繰越額	0	0	0	0	1,521	1,521
		人件費	正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)	総人件費		総事業費	
		1.0	0.0	7,133	19,576			

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費		12,443	10,102	未定	未定
	うち一般財源		1,793	6,021		
	人件費		7,133	12,743		
	総事業費		19,576	22,845		

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		申請対象資料の全体像を把握することができ、今後の周知活動に有効に活用できる。
	効率性	B:概ね効率的だった		限られた作業環境の中での資料保存調査であったため、慎重な作業が求められた。
②成果に対する評価	指標名	ドイツ館周辺への来訪者数		目標に達しなかったものの、ほぼそれに近い実績となったため
	目標	70,250	人	
	実績	70,000	人	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
③総合的な評価		<b>B</b>		項目①②のとおり

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①対象となる「記録資料」の安全な保存活用に向けて検討を行う必要がある。 ②①を考慮しながら資料活用に重点を置いた事業の企画の推進。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	<b>3</b>
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度	①申請書(案)の最終調整と申請書の作成。②資料保存管理調査検討委員会の設置及び県と共同で調査検討委員会の開催。③申請対象資料の状態調査の実施。④企画展示・講演会を通じた事業の周知広報活動。⑤デジタル化の推進。			
	H30年度	①申請書提出②資料保存管理調査検討委員会の開催及び県と共同で調査検討委員会の開催。③申請対象資料の状態調査の実施。④企画展示・講演会を通じた事業の周知広報活動。⑤デジタル化の推進。			